

常盤の松

富岡市立富岡中学校

TEL 0274-62-1741

Email tomi-jhs@tomioka.ed.jp

文責 校長 土屋 勇



振り返りは、次へのステップ！ ～R2年度修了式～

今年度が修了となります。本日、修了式を行いました。1，2年生の各学級の代表に「修了証」を渡しました。修了式での式辞を紹介します。

「修了」とは、単に終わりを意味する終了ではなく、やるべきことをやり終え、しっかりと身に付けたという意味があります。改めて自分を振り返り、何をどこまで身に付けられたかを確認してほしいと思います。振り返る中で不足を感じた場合には、次の学年になる前に、しっかりと身に付け直す必要があります。振り返るということは、自分の弱点を確認し、それを少しでも克服しようと努力することが次へのステップにつながります。誰もが必ず弱点があります。この振り返りを怠らずに実践できるかどうかがとても大切になってきます。

さて、本日で学校の1年が終わります。木にととると、一つ年輪を重ねたこととなります。年輪はいつ刻まれるのでしょうか。そうです。成長が遅く、厳しい環境の冬です。木は、厳しい環境の中を生き抜くために、葉っぱを落とし、できるだけエネルギーを使わないように工夫します。厳しい環境の中で、じっとしているときに年輪は作られます。

皆さんの心の中にもこの1年で年輪が刻まれています。振り返ってみると、大変なことばかりだったでしょう。誰もがそうでした。でも、コロナ対応以外にも大変なことがあったと思います。学習のこと、部活動のこと、友だち関係や家族とのこともあるかもしれません。思春期を迎えている皆さんですから、辛いときがあったと思います。そんなときに、実は心の中に年輪が刻まれたのだと思います。木材は年輪があるから強いのです。同じように、辛い経験をしている人は、実は強くなれるんです。心の年輪がピンチのときを支えてくれるのです。



間違いなく言えることは、皆さんの心の中の年輪は、1年前と比べて確実に大きくなっています。自分では気づかないかもしれませんが、着実に成長しています。自信をもってください。

来月から始まる2021年度。いろいろなことがあると思います。楽しいこと、うれしいこと、大変なこと、辛いこと。でも、大変なときこそ、年輪が刻まれていると考えたら、気持ちが楽になりませんか。失敗してもいいんです。困難な壁にぶち当たったとき、心に年輪が刻まれていることを実感してください。



次年度に向けた生徒総会

卒業式の翌週、3月15日（月）に本年度3回目の生徒総会を行いました。今年度の総括として、本部役員、各専門委員会委員長が活動報告を行いました。毎回のことですが、全校生徒の前で報告を行う委員長たちの立派さは賞賛に値します。事前の準備がしっかりとできていて、言うべきことや伝えるべきことをしっかりと頭に置き、堂々と聞いている生徒達の顔を見ながら報告していました。特に、質疑の場面では、複数の生徒達が質問したり、ある委員会に質問が続いたりしましたが、当該委員長はとて落ち着いていて、難なくわかりやすく答えていました。

生徒達のこのような経験は、必ず次に生きてきます。できるだけ多く経験することで、自信につながります。失敗しても「つぎこそ」という気持ちで再度挑戦してほしいと思います。現在の生徒会本部役員は、今年の10月までの半年間は続けることとなります。「種から咲かせる成長の花」を意識し、一人一人の生徒の心に大輪の花を咲かせるため、富中生徒会をしっかりと背負い、更によりよい方向に導いていってほしいと願っています。

「自転車許可願」の提出、お世話になりました！

来月1日から群馬県条例で自転車保険の加入義務化に伴いまして、学校としても保険加入状況を把握するため、今月初めに全校生徒のご家庭に「自転車通学等許可願」を配布させていただきました。現在のところ、ほとんどのご家庭で「許可願」を提出いただいております。お忙しい中でしたが、ご協力をいただき、ありがとうございました。

中学校では、毎日の通学だけでなく、学校行事や休日の部活動でも自転車を使うことがありますので、全校生徒を対象にさせていただきました。趣旨はご理解いただいたと思いますが、大切なことは、事故に遭わないように運転に気をつけるということです。我々大人もそうですが、「大丈夫だと思った」という思い込み運転で事故に遭遇することがあります。年度末や年度初めは特に忙しい状況になりますので、気をつけたいですね。

学校でも交通安全教室を実施したり、交通安全について呼び掛けたりしながら、生徒の安全意識を高めようとしております。今後ともご家庭でも話題にさせていただきますようお願いいたします。

聖火ランナーに本校吹奏楽部が参加！

3月31日（水）、予定では午後4時50分頃、富岡製糸場から聖火ランナーとして井森美幸さんが走ることになっています。その場を盛り上げようと富岡市から要請され、井森さんがスタートするタイミングで本校吹奏楽部が演奏することになっています。製糸場内の特設ステージで演奏しますが、感染防止を配慮し、残念ながら近くで観覧できません。ただ、五輪開催に向けて、本校生徒達が一翼を担っているということは、とても誇らしいことです。気持ちを込めて演奏してほしいと思います。



波瀾万丈の令和2年度でした。予期せぬことが起きましたが、そこから学ぶことも多かったことも事実です。これから始まる令和3年度は、これまで経験したことをどこまで生かせるかが試されるような気がします。コロナ感染状況については、これまでの我々の取組を続けていくことを誰もが理解しています。その中で、できることを工夫しながら一生懸命に取り組むことだと思います。

地域の皆様、保護者の皆様、一年間大変お世話になりました。多くの面でご協力をいただき、ありがとうございました。